

令和6年度

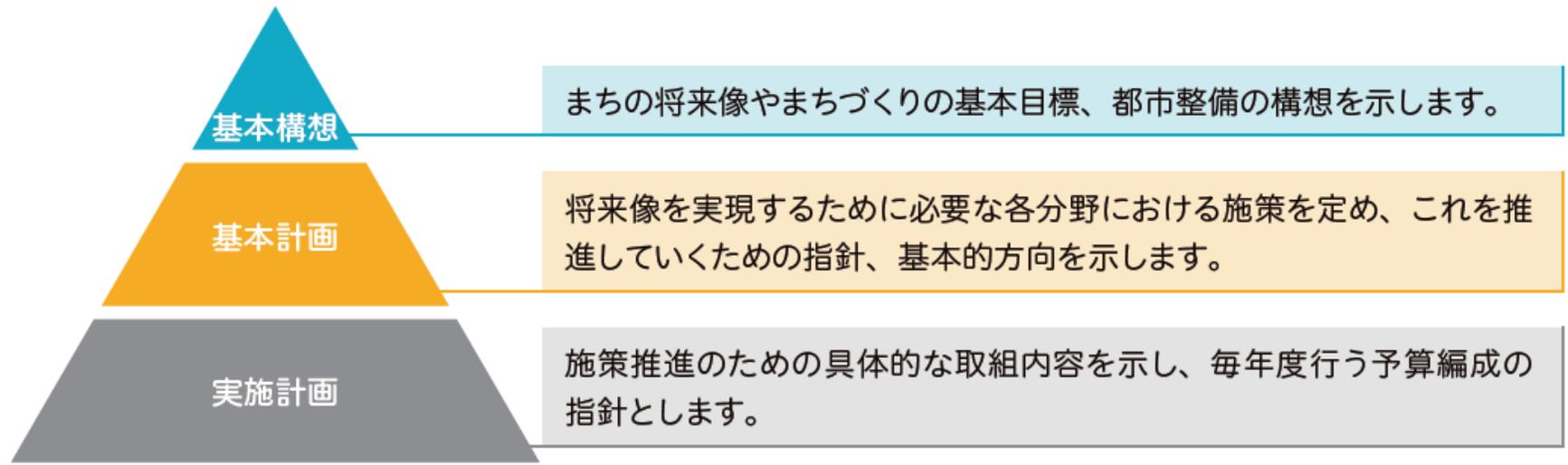
地域力向上ミーティング

あんなが
まちづくりリビジョン
2024

第3次安中市総合計画



計画の構成



計画の期間

基本構想	令和6(2024)年度から令和13(2031)年度までの8か年とします。
基本計画	令和6(2024)年度から令和9(2027)年度までの4か年を前期、令和10(2028)年度から令和13(2031)年度までの4か年を後期の計画期間とします。
実施計画	3か年を計画期間とし、これを毎年度見直すローリング方式とします。



まちの将来像

住んで良かった 豊かで魅力ある元気な 新しいあんなか
～さらに、光り輝くまちへ～





まちづくりの7つの基本目標

基本目標1 未来を担う 子どもたちが健やかに育つまち

基本目標2 支え合い 誰もが健康長寿で暮らしやすいまち

基本目標3 安全・安心で心地よく 住み続けられるまち

基本目標4 自分らしく 心豊かに暮らせるまち

基本目標5 豊かな自然を活かし 快適で住みやすいまち

基本目標6 経済が活性化し 元気で魅力にあふれるまち

基本目標7 市民のための健全な行財政運営と 市の魅力向上



基本目標 1 未来を担う 子どもたちが健やかに育つまち

- ◆マタニティサポート給付金
 - ・国県補助に加え、市独自の給付金を合計10万円上乘せ
- ◆副食費の無償化
 - ・3~5歳児の副食費（月額4,800円を上限）の無償化を実施
- ◆医療相談アプリの導入
 - ・妊娠中の母親や未就学児と家族向けの医療相談アプリ（無料）を導入





基本目標 2 支え合い 誰もが健康長寿で暮らしやすいまち

◆第4次地域福祉計画の策定

- ・座談会の開催や市民へのアンケート調査を実施し、7年度に策定

◆介護予防・認知症予防の推進

- ・電力データを活用したフレイル予防

◆公立碓氷病院の充実

- ・診察案内表示システムや自動精算機導入による個人情報保護と利便性向上





基本目標 3 安全・安心で心地よく 住み続けられるまち

◆消防団の充実

- ・外国人への災害支援と啓発活動のため、外国人機能別団員制度を導入

◆防犯対策

- ・交通事故の多発地帯や犯罪の発生が懸念される街頭へ防犯カメラを設置

◆地域公共交通計画策定と実証実験

- ・AI導入や新しいライフスタイルへの対応、MaaS展開の検討





基本目標 4 自分らしく 心豊かに暮らせるまち

◆教育環境の充実

- ・松井田学校給食センターにおける食物アレルギー対応のための施設整備と人員体制の整備

◆スポーツの振興

- ・碓氷峠Mapleヒルクライムの実施
- ・西毛総合運動公園陸上競技場の整備

◆文化財の保存活用

- ・歴史の道の整備（中山道碓氷峠越・堂峰番所跡・碓氷関所跡の保存整備）





基本目標 5 豊かな自然を活かし 快適で住みやすいまち

◆省エネ型ライフスタイルの推進

- ・住宅省エネ改修補助制度の創設（上限10万円、120件まで）

◆空き家対策

- ・空き家バンクリフォーム補助金において若年層へ加算（39歳以下は上限40万円）

◆動物愛護

- ・動物愛護条例見直しによる人とペットが共生・共存できるまちづくり





基本目標 6 経済が活性化し 元気で魅力にあふれるまち

◆市内企業のPR

- ・特徴ある企業紹介サイトを立ち上げ、企業の魅力をPR

◆耕作放棄地対策の強化

- ・早生桐・オリーブ植栽への補助

◆道の駅の整備

- ・観光振興の拠点・防災の拠点となる道の駅を整備

◆移住・定住アクションプランの策定

- ・地域コミュニティの課題解決を目指す住民参加型の仕組み作り





基本目標 7 市民のための健全な行財政運営と 市の魅力向上

- ◆DXの推進
 - ・DX推進本部を立ち上げ、計画的にDXを推進
- ◆電子地域通貨の導入
 - ・市内経済の好循環と地域経済の活性化を図る
- ◆行政手続のオンライン化
 - ・電子申請システムを更新し利便性の向上を図る



安中市電子地域通貨

UMECA



碓氷峠鉄道施設群の世界遺産登録に向けた取組

◆有識者会議と庁内プロジェクトチームを組織し世界遺産登録に向け推進



安中市新庁舎建設の進捗報告

実施設計概要

既存庁舎を活かした 機能的でシンプル・コンパクトな「SDGs」型庁舎



構造

- ・地上3階建て
- ・鉄筋コンクリート造一部鉄骨造

規模

- ・延床面積 7,535.83㎡
うち庁舎本体部分 7,255㎡
庁舎底部分 142.93㎡
その他建物 137.90㎡

北側からの俯瞰イメージ



新庁舎

駐車場

広場

格技場

安中体育館

敷地内配置図



駐車場:約190台

うち 一般車両 約185台
思いやり駐車場 5台

庁舎南側イメージ



東山道駅路跡については左図のように側溝部分の色を変えることにより遺構の存在を感じられるように表現を行う

エントランスイメージ



- 総合案内のカウンターや壁面等には県産木材を積極的に活用する。
- エントランスや待合スペースのコンクリートの型枠には杉板を張り、木目を転写することで、来庁者を木の温かみをもって迎えられるようにする。

1階待合スペースイメージ



吹き抜けや中庭により開放的な空間
としている

2階待合スペースイメージ



ハイサイドライトからの自然光・通風の取入れにより省エネや待合空間の快適性に配慮している。

議場イメージ



- 市産・県産の木材を多く利用し木質化を図ることで、温かみのある空間とする。
- 議場は会議等で多目的に利用できるようフラットな構造にする。

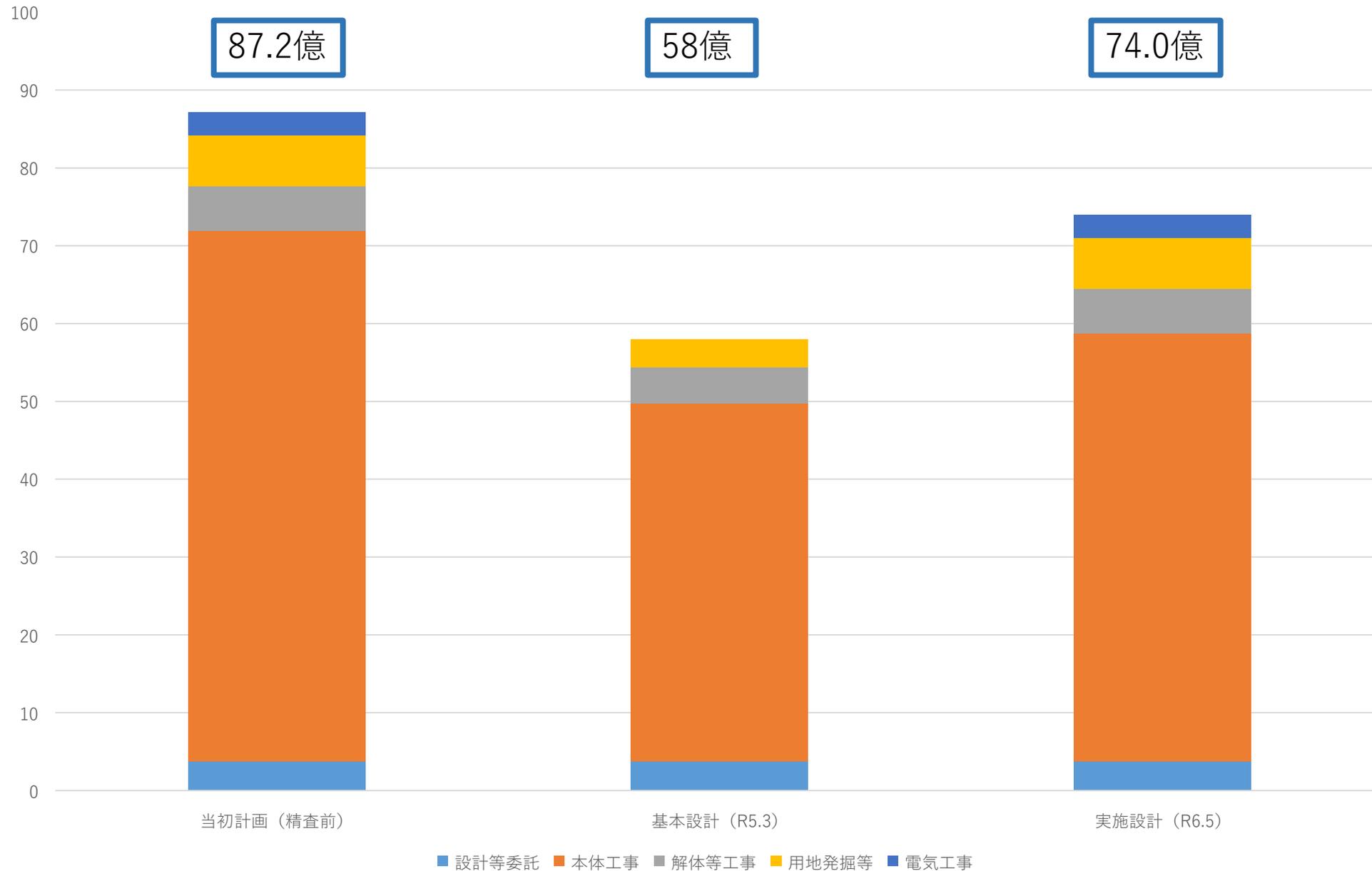
新庁舎完成イメージ

概算事業費

項目	内 訳	当初計画金額(精査前) ※物価上昇・実績等を加味 規模 9,000m ²	基本設計 規模 7,629m ²	実施設計 規模 7,536m ²
設計等委託		3.7億円	3.7億円	3.7億円
本体工事		68.2億円	46.1億円	55.0億円
解体等工事		5.8億円	4.6億円	5.8億円
用地・発掘等	文化財発掘調査	0.2億円	0.1億円	0.2億円
	用地取得費	2.2億円	2.2億円	2.2億円
	什器、引越等	4.1億円	1.3億円	4.1億円
		6.5億円	3.6億円	6.5億円
合 計		84.2億円	58.0億円	71.0億円
別途電気工事	電話システム、議場システム等	3.0億円	-億円	3.0億円
総 合 計		87.2億円	58.0億円	74.0億円

※外構工事費は基本設計時まで「解体等工事」に含んでおりましたが、庁舎本体の工事と一括発注とした関係から「本体工事」に組み替えております。

※事業費については実施設計終了時点のものであり、社会情勢の変化等の要因で増減する可能性があります。



工事概要

- 契約工期 : 令和6年8月23日～令和8年3月15日
- 請負金額 : 5,487,900,000円 (税込)
- 施工者 : 佐田建設株式会社
住所 : 群馬県前橋市元総社町1丁目1番7号
- 工事監理者 : 株式会社石本建築事務所
住所 : 東京都千代田区九段南4丁目6番12号

